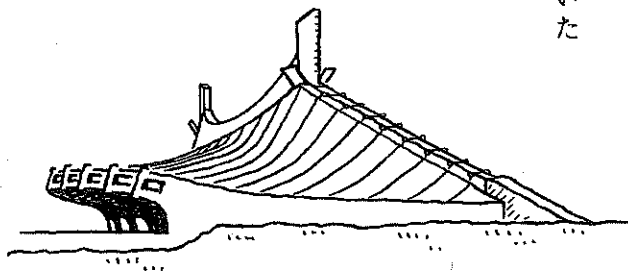


FALLING
WATER
1936

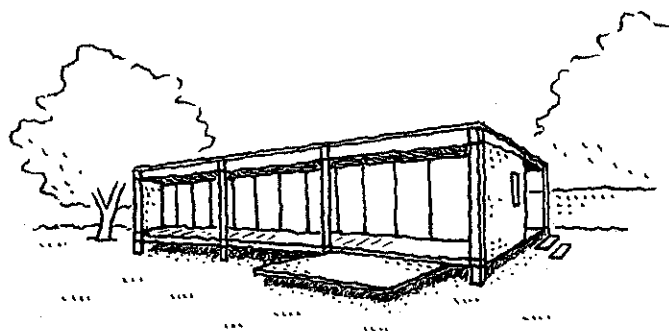
生き続ける
モダニズム建築展

時代を超えて
わたしたちへ届いた
建築メッセージ。

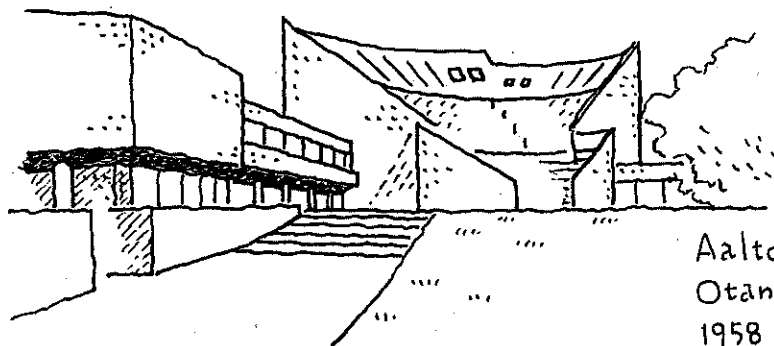


国立代々木競技場 1964

Timeless
Modern
Architecture



札幌の家 1968



Aalto-yliopisto
Otaniemen Kampus
1958

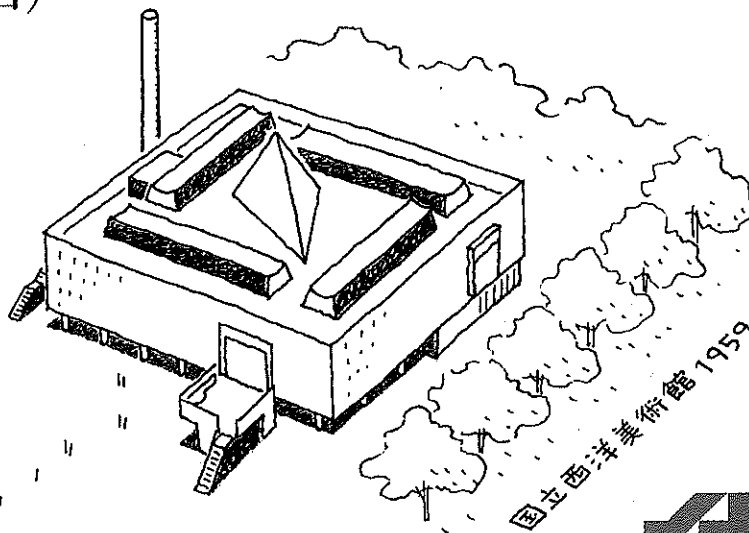
2022年6月3日(金)→7月3日(日)

中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館ステーションギャラリー
(旭川市宮下通8丁目3番1号/JR旭川駅内・東/rei. 0166-46-6277)

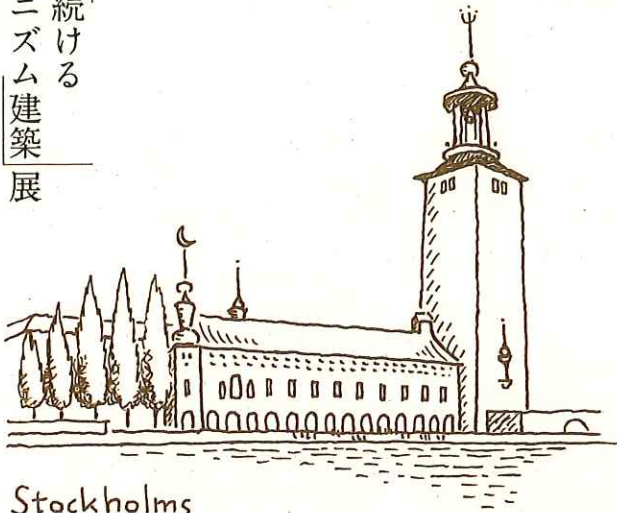
開館時間/10:30→18:30 (入館は18:15まで)

休館日/月曜日

入館無料

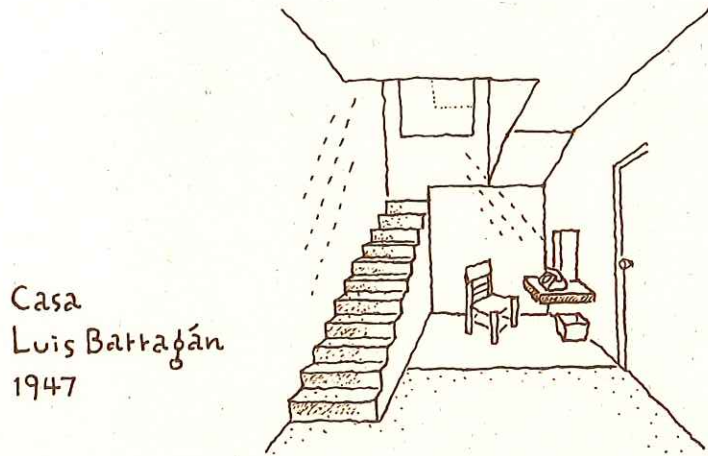


国立西洋美術館 1959

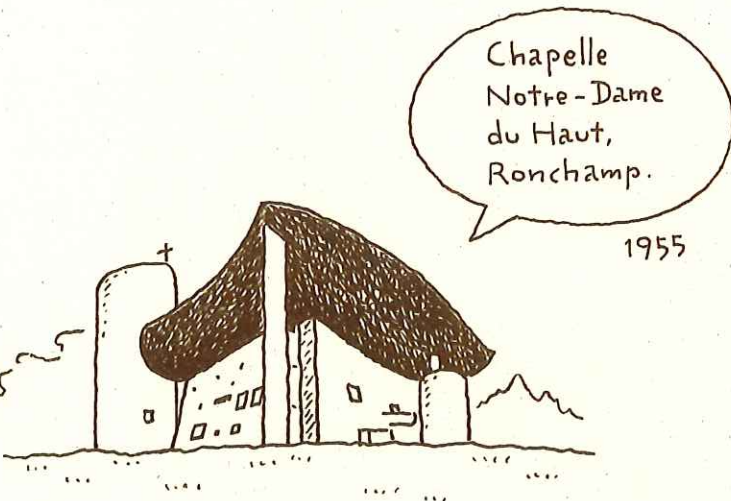


Stockholms
Stadshus 1923

Timeless Modern Architecture



Casa
Luis Barragán
1947



Chapelle
Notre-Dame
du Haut,
Ronchamp.

1955

20世紀、産業と技術の高度化を背景に、建築の領域でも近代的な美学を追い求めた多くの建築家がありました。

彼らの建築は一般に「機能主義」や「合理主義」といった切り口で語られますが、優れたモダニズム建築には、建築家の個性的建築観や感性が色濃く投影されています。

これらの建築の中には、歳月を経て、老朽化や社会的要求との乖離を理由に姿を消すものもあります。

一方、「構造的な改修」や「機能の更新」を施すことにより、元来の建築的な質と空間的魅力を保ちつつ再生される事例も少なくありません。

循環型社会の構築に向けて、優れた建築ストックの形成が重要課題となっている今、時代を超えて生き続ける国内外のモダニズム建築を紹介します。

「生き続けるモダニズム建築」展 実行委員会
委員長／大矢二郎

3つの物語

- 第1章 生き続けるモダニズム建築
- 第2章 わたしのイチオシ！モダニズム建築
- 第3章 旭川の未来を市民のみなさんと描く

トークイベント

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 生き続けるモダニズム建築 | 6月11日(土)
13:30～ |
| 旭川赤レンガ市庁舎の軌跡と未来 | 6月25日(土)
13:30～ |

参加無料、お申し込みは不要です。
お時間までにご来場ください。

主催／公益社団法人 日本建築家協会 北海道支部 旭川地区会
中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館

協力／公益社団法人 日本建築家協会 北海道支部 道東地区会
公益社団法人 日本建築家協会 北海道支部 函館地区会
建築模型製作所 ブロック・エム

協賛／一般社団法人 北海道建築士会 旭川支部
一般社団法人 北海道建築士事務所協会 旭川支部

後援／一般社団法人 DOCOMOMO Japan
旭川家具工業協同組合
北海道新聞旭川支社
北のまち新聞社「あさひかわ新聞」
旭川ケーブルテレビ株式会社「ポテト」

デザイン・イラストレーション／米田勝信

お問い合わせ／tel. 090-7519-6923 (石田)